

# 『継続は力なり』

小谷野しょうぶ保育園

初めは意識して続けていたことが自然と生活の一部になり、毎日続けることの大切さと成長の大きさを感じています。その生活の一部になりつつある事柄をいくつかご紹介します。

## ①毎朝、八百屋さんから納品された野菜を見たり、触ったり、持ってみたりする。

朝8時頃、りす、うさぎ組さんが移動する時、調理室の前を通ります。野菜はまだダンボール箱に入ったままです。

「今日は、どんな野菜がきてるかな?」「なんという名前かな?」「果物はなにかな?」「大きいね」「重いね」「たくさんあるね」「給食楽しみだね」と保育士の先生が声掛けをして促してくれます。

いつも食べている野菜や季節を感じる野菜、果物など朝に見たものが調理されて給食になって食べることを何となくでも理解してくれているようです。

## ②手指を使う。

野菜の皮むきなど素材そのものに触れたり、柔らかいもの、固いもの、力を入れ過ぎるとぶれちゃったり、こわれちゃったり、力加減も知る機会でもあります。かぼちゃボーロをコロコロ手の平で丸めたり、ぎょうざの皮のふちに水をつけて皮が破れないように具を包んだり。

「上手だね」と声をかけると「家でもやってるもん」とかえってきました。保育園でも家庭でも手指を使う機会が増えるといいと思います。

## ③箸の持ち方特訓中。

きりん組（4歳児）で実施。何度も繰り返し食事の時間も持ち方がおかしくないか確認します。

ギザギザに折った紙、スポンジ、まめっこ（プラスチック製のひよこ）、ささげ豆（乾燥）角切りの消しゴムなどを使い、箸でつまんで入れ物に移し変えたりします。箸で豆を離す時、音をたてないようにやさしく置くよう約束しました。もうすでに上手に使える子。使えるがスムーズにいかない子。箸がバッテンになってしまう子。エジソンの装具を着けると使える子などさまざまですが、日に日に上達している姿が見受けられます。

## ④そう組の3色食品群

年度のはじめ位に3色食品についてお話をしました。それからは赤、黄、緑に分けている食材カードをお当番さんが献立を見ながら「3色列車ボード」に貼ってくれます。ある時、ドキッとする質問を受けました。

「同じ牛の乳からできているのに、チーズは赤の仲間でバターは何で黄色の仲間なの？」

子供にわかりやすく説明するのは難しいです。子供扱いせず大人に説明するように話しました。

（こちらの語彙不足）「牛の乳からお水（水分）を抜きながらたんぱく質を多く残したまま固めるほうがチーズ」「たんぱく質が多い食べ物は赤の仲間」「お水を抜くとたんぱく質も一緒に抜けて、油を多く残して固めるほうがバター」「油が多い食べ物は黄色の仲間」「他にもそういう食べ物があるよ」などと話しが広がり、大人では気づかない珍しい発見もありました。

最後に「お菓子の家」の絵本を読んでいた子から作ってほしいとりクエストがあり3割位のクオリティですが再現してみました。構想の時点では立体にこだわっていましたが、絵本からの平面でも子供たちは十分喜んでくれました。昨年の目標でもあった子供の夢をひとつ叶えることができました。

①毎朝、八百屋さんから納品された野菜を見たり、触ったり、持ってみたりする。

# 『継続は力なり』

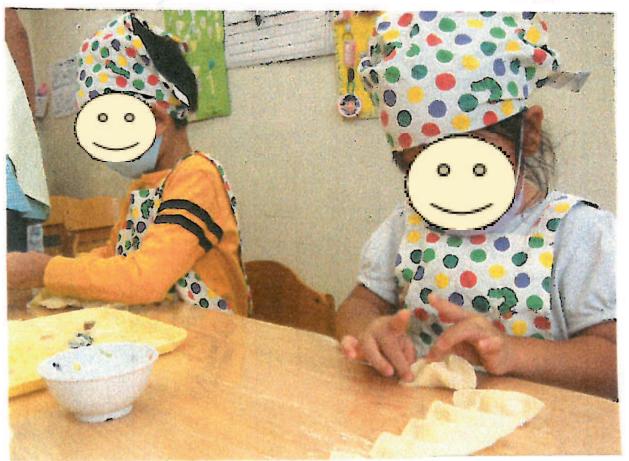
小谷野しょうぶ保育園



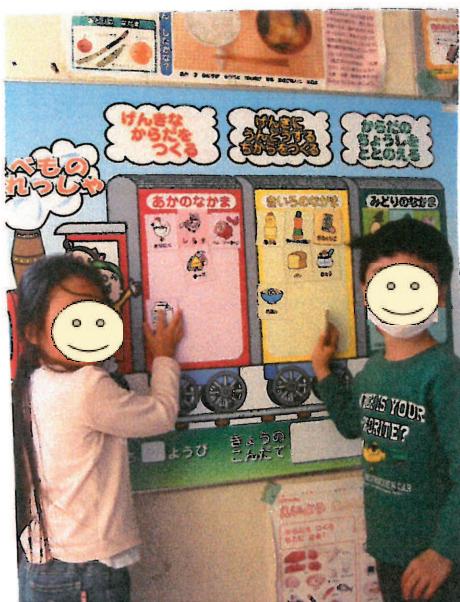
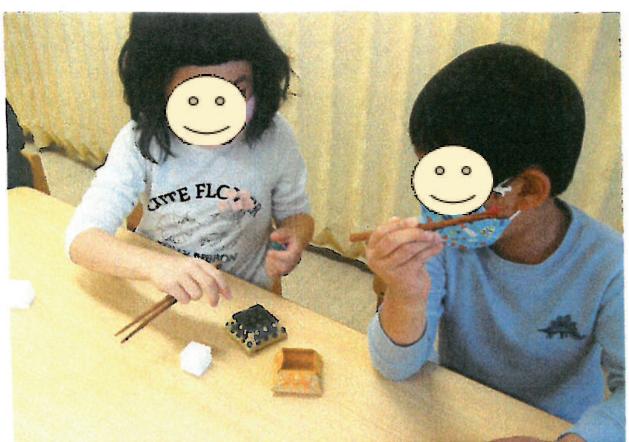
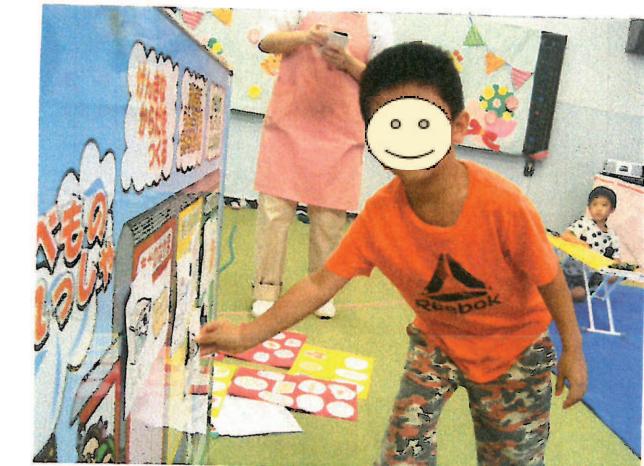
→手指を使う。



かぼちゃボーロをコロコロ



きょうざの皮のふちに水をつけて



「お菓子の家」